



新たな殿田小学校の第一歩を踏み出す —殿田小学校統合式・入学式—



▲新たな殿田小学校が始まりました

平成十九年三月で閉校した五ヶ荘小学校と、殿田小学校との統合式を、新しく完成した殿田小学校体育館で行いました。

統合式では齊藤進南丹市教育委員会委員長が「五ヶ荘小学校の伝統を引き継ぎ、新たな殿田小学校としての第一歩を踏み出しました」とあいさつ。また、佐々木市長が「子どもたちが大きな希望を胸に、統合して良かったと言われるように取り組んでいきたい」と式辞を述べました。最後に、六年生の吉田奈菜さんと木村未優さんが、「より良い学校に

なるように、友情の輪を広げていきたい」とあいさつをしました。

統合式終了後には入学式が行われ、殿田小学校下村^{たかし}校長が「今夏には新しい校舎も完成し、自然の豊かな環境を生かして、心豊かな児童を育てていきたい」と式辞を述べました。また、児童を代表して、六年生の栃下文吾君が「これからは殿田小学校の仲間です。分からないことは何でも聞いてください」と歓迎のあいさつをしました。

殿田小学校は新入生が二十四人で、全校児童数は百四十二人となりました。



▲新入生24人が元気に入学



▲市長に答申を行う高井委員長（左から2人目）

福祉のまちづくりをめざす
次世代育成支援行動計画
| 障害者及び障害福祉計画 答申 |

昨年八月に策定委員会を設置し検討が行われてきた、南丹市福祉計画「次世代育成支援行動計画」および「障害者及び障害福祉計画」の協議が終了し、四月十七日に策定委員会を代表して高井豊委員長と木村純三副委員長が市長に答申をされました。

計画では、地域と行政が一体となった子育て支援と、障がいのある人の自立と社会参加に向けたまちづくりが求められています。

市ではこの答申を受け、今年度中に「南丹市福祉計画」を策定する予定です。

協議会では杉森寛会長が「近年、野生鳥獣による被害で作物の生産意欲が薄れてきており、被害防止策が急務である」とあいさつされました。

そして、平成十八年度の野生鳥獣による被害報告があり、住宅地での熊の目撃例があるなど、地域の実情に合わせた今後の捕獲計画が話し合われました。

**被害を最小限に
捕獲計画を立てる**
| 南丹市野生鳥獣被害
対策運営協議会 |

四月十一日、南丹市野生鳥獣被害対策運営協議会を市役所で行い、森林組合や猟友会、京都府などから二十一人の委員が出席しました。



▲野生鳥獣対策が話し合われました